



# 法事の功德を地域にめぐらすお供えもの 「えこうセット」はじめます

ご法事のお供えは、花・菓子・果物などを用意しますが、古来より供養された品は仏さまからのお下がりとして頂戴し、参列者で食し分かち合うという考え方があります。この分かち合う範囲を「参列者だけ」から「どこかの必要な方」まで広げることによって地域の課題解決に貢献することができ、更にあなた自身の仏道修行の実践になるとしたらいかがでしょうか？

## 曹洞宗 ソナエルproject とは


- 1 「えこうセット」を申し込む
- 2 法事の供物としてソナエル
- 3 お寺が地域の協力者に託し
- 4 必要とされる人々にお届け

茅野市社会福祉協議会などを通して、私どもが住む地域の課題解決に取り組む子供食堂主催団体などにお供物を寄贈する取り組みです。  
 故人への供養と地域の困難をつなぐことで、社会に慈悲の循環（<sup>えこう</sup>回向）をつくっていくことは、菩薩行の実践となるはず。ひとり親家庭への支援、防災のための備蓄、子ども食堂への食材提供など、多くの課題が考えられます。  
 「ほとけさま」へ供えるソナエル行為を通して施主は徳を身に具えるソナエル。お供えされた供物が循環していくことで社会は安心を備えるソナエル。  
 曹洞宗ではこの取り組みを「ソナエル project」と名付け、慈悲の循環を広げる活動を実践して参ります。

<sup>えこう</sup>回向とは、善行の功德を世界中にめぐらし向けることです。つまり、お供え物を参列者以外にも分かち合うことは、法事の功德を回向することでもあり、これが菩薩行の実践へと繋がります。

令和5年夏から茅野市宮川の入倉米穀さまにご協力を頂き法事のお供え物として「<sup>まい</sup>えこう米」を取り扱って参りました。  
 今後は、主食である「えこう米」に添える副菜として缶詰やレトルト食品などのおかずをセットにしたものを「えこうセット（お供物）」として取り扱い始めます。  
 供養されたお供物は**お寺、社会福祉協議会を通して支援を必要とされる人々に届けられます**。もちろん、従来通りの方法でお供物を準備していただいて構いません。あくまでも、選択肢のひとつとしてこのような活動があることをお知らせさせていただきます。  
 お供え物は山積みのお菓子が必要という訳ではありません。例えば、家族四人の参列ならばお菓子四つで十分ですが、そこに「えこうセット」を添えることもご検討下されば幸いです。

令和6年元旦 検校庵



**えこうセット**（お米と缶詰レトルト食品などの詰め合わせ）  
 3,000 円、5,000 円 よりお選びいただけます

☎0266-72-3058